

コミュニティ・スクールを活用した 「協働の学び」と「コミュニティ・ビジネス創出」事業 第2章

(1) はじめに

大町市美麻地区は少子高齢化過疎化が進み、平成 29 年には人口が千人を切った。その中、住民自治組織「美麻地域づくり会議」が発足し住民主体でまちづくりを推進してきた。美麻小中学校がコミュニティ・スクールとなり、地域住民との協働で学校運営を行い、地域住民とともに学ぶ総合学習「美麻市民科」では、生徒が能動的に学ぶアクティブラーニングの取組みが推進されてきた。そこで花豆を特産品として住民や企業と協働で商品開発しようという取組みが生まれ、子どもたちが受け継いできた。子どもたちが地域と思いを共有し活動につなげる取組みを、地域ボランティアや住民自治組織が支援することで、前進してゆくプロセスを構築してゆきたいと考えた。こうした取組みは、様々な分野で今後も子どもたちの中でも受け継がれ、地域での活動に発展してゆくことが期待される。

(2) 取組みの目的

学校と地域が協働し、総合学習である美麻市民科の学習支援を通じ、地域の人材育成につながるキャリア教育の体系化を進め、将来の地域でのコミュニティ・ビジネス創出に向けた事業を展開する。

(3) 過去の活動実績（コミュニティ・スクールと地域の連携事業）

- ・ 2010 長野大学と連携し地域を学ぶ総合学習「美麻（いち）市民科」の開始
- ・ 2011 美麻地区文化祭を小中学校と共催として地域に向け学習成果発表を開始
- ・ 2014 文科省指定のコミュニティ・スクールとなり、学校支援ボランティアが発足
- ・ 市民科で「花豆」の特産品化をテーマとしたグループが発足し継続テーマとなる
- ・ 2015 神城断層地震被災から地域防災テーマ授業が行われ「ぼうさい甲子園フロンティア賞」受賞
- ・ ボランティアとの前庭整備が「長野県ふるさとの森林づくり賞（知事賞）」を受賞
- ・ 2016 平成 28 年度「地域学校協働活動」推進に係る『文部科学大臣表彰』を受賞
- ・ 2017 花豆の 6 次産業化目指すグループが「花豆モンブラン」を地域と連携し試験販売まで取組んだ

(4) これまでの取組み

平成 26 年に始まった住民自治組織や美麻小中学校の子ども達による花豆の特産品化事業を受けついで、平成 30 年に 9 年生は、昨年度の活動経験をもとに栽培と商品開発をさらに進め、商品 PR グッズなどのデザインを行った。広報活動の機会として、東京の長野県アンテナショップの銀座 NAGANO で、大町市商工労政課と連携し、花豆の広報、販売、郷土料理研究家横山たか子さん（大町市出身）とのコラボイベントを行う。さらに活動のまとめとして、花豆レシピ集を編集発行した。地域協働での授業を進めるうえで、子どもたちには研究の仕方、地域ボランティアや先生方には役割や手法を学ぶ機会としてアクティブラーニングの勉強会を開いて学んだ。

(6) 今年度の取組み

平成31年（令和元年）に7年生は、卒業生から受け継いだ、総合学習での花豆の栽培や商品販売を行う。9年生は、地域のお店をネットワーク化するための地図作りを計画、そのためのワークショップを実施する。授業を進めるうえで、子どもたちは視点の持ち方やワークショップの仕方、ファシリテーションの方法を学ぶ。地域ボランティアや先生方も有効な学習アドバイスができるよう取り組みへの視点を学ぶ機会とし勉強会を開いて学ぶ。地域ボランティアや住民自治組織では、栽培を進め商品開発や店舗開発を進め、イベントでの開発商品の販売を実施する。

(7) 実施した事業

3月

美麻小中学校の活動

- ・卒業する9年生から後輩の6年生の総合学習で事業継続のためのプレゼン実施

地域・支援隊の活動

- ・美麻地域づくり会議での花豆特産品化推進計画と予算化検討
- ・花豆アイスクリームの試作依頼 試食、検討 デザイン作成

4月

地域・支援隊の活動

- ・美麻地域づくり会議での花豆特産品推進計画と予算化総会で議決
- ・花豆の育苗
- ・花豆製品のPR活動の実施 信州花ふえすへの出店（やまびこドーム）4/27.28.29
- ・商品作成 花豆あいすクリーム 花豆羊羹 花豆パン 花豆ティラミス 花豆バタークッキー



花豆あいす

美麻小中学校の活動

- ・7年生の子どもたちによる広報 地元紙（大糸タイムス）での掲載
- ・信州花ふえすへの出店（やまびこドーム）4/27.28.29へ参加PR活動



信州花ふえすへの出店

5月

美麻小中学校の活動

- ・子どもたちの花豆作付（美麻地域づくり会議との協働）
- ・7年生の学習活動計画（花豆の栽培・販売）
- ・9年生の学習活動計画（美麻のお店ネットワーク地図作り）
- ・9年生ファシリテーション・ワークショップ技術学習 5/10
- ・総合学習アクティブラーニング学習 5/25 7年生から9年生・先生・保護者対象で3回実施

地域・支援隊の活動

- ・作付農家12軒の確保
- ・昨年度の子どもたちの活動を掲載したコミュニティ・カレンダーの発行
- ・信州花ふえすへの出店 5/3.4.5（PR活動6月まで継続） 商品：花豆アイスクリーム・花豆羊羹



ワークショップ技術学習



アクティブラーニング研修

6月

地域・支援隊の活動

- ・地域・学校合同運動会での花豆パンを使ったパン食い競争実施 PR活動 6/1
- ・販売委託先の開拓（6か所：地区内3か所市内1か所東京1か所大阪1か所）
- ・PR用花豆あいすのぼりとタペストリーの製作



のぼりとタペストリー

7月

地域・支援隊の活動

- ・会社設立の検討開始 地方創生総合戦略事業としての小さな拠点づくり事業としての位置づけ検討
- ・小さな拠点づくり視察事業（北相木・諏訪・岡谷）

美麻小中学校の活動

- ・9年生のファシリテーション学習・ワークショップ学習
- ・9年生のMAP作りワークショップ 7/9
- ・9年生地図づくり学習開始



MAP作りワークショップ

8月

地域・支援隊の活動

- ・やまびこ祭 8/3 花豆あいすの販売 7年生の参加
- ・いいところよつとくれフェアー8/10 花豆あいすの販売
- ・新商品開発試作依頼 花豆甘納豆

美麻小中学校の活動

- ・印刷製本指導

9月

美麻小中学校の活動

- ・プレゼンワークショップ 9/7
- ・9年生取材ワークショップ

地域・支援隊の活動

- ・新作花豆パン発売
- ・学校文化祭での販売 10/20 花豆あいす・花豆パン

10月

地域・支援隊の活動

- ・全国へき地校大会での花豆製品販売（学校）10/11 花豆甘納豆（新作お披露目）7年生の参加

美麻小中学校の活動

- ・地域文化祭での学習発表と商品試食 PR 販売会 7年生

アイスクリーム・花豆羊羹・花豆パン・花豆モンブラン・花豆バタークッキー・花豆ナゲット・花豆トルティーヤ・花豆あいす・花豆甘納豆

- ・まとめの会ポスターセッション 10/29



学習発表



試食販売会



花豆甘納豆

11月

地域・支援隊の活動

- ・小さな拠点住民説明会と課題発見アンケート 11/1
- ・ふるさと美麻会 11/9 花豆あいすの試食
- ・小さな拠点事業の市長への提案

12月

地域・支援隊の活動

- ・住民対象小さな拠点ワークショップ（課題発見）
- ・花豆スイーツ&移住フェア-in 立川 12/1



1月

地域・支援隊の活動

- ・のぼりの製作



2月

地域・支援隊の活動

- ・大町市でのアメ市イベントでのPR販売 7年生参加
花豆ナゲット・花豆甘納豆



花豆ナゲット



アメ市での販売会

美麻小中学校の活動

- ・ネットワークマップ作成完成



(裏) お店の説明



(表) マップ

新聞掲載記事 (大糸タイムス)



5/21 ワークショップ



5/22 運動会



8/22 夏祭



10/26 文化祭での販売PR



2/12 アメ市

(8) 今後の展望

- ①地域と学校が協働した学習プログラムへの取り組みは、学校での総合学習の授業として今後も継続的に続けてゆく必要がある。さらに取り組みを高めるために研修会を継続して、子どもたちと教師、地域住民がともに学ぶ体制を進める。
- ②地域でも栽培農家の増加や栽培面積の拡大への取り組みと、特に栽培技術を高めて生産量を増やす必要がある。栽培技術を指導者を入れて学んでいく必要がある。
- ③事業の法人化を進め継続的な活動として進めてゆく必要がある。